

99-331

問題文

成人患者に対する処方のうち、必ず疑義照会が必要なものはどれか。2つ選べ。

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 アテノロール錠 50 mg | 1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
1 日 1 回 朝食後 14 日分 |
| 2 ミチグリニドカルシウム水和物錠 10 mg | 1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
1 日 3 回 朝昼夕食直前 14 日分 |
| 3 ラニナミビルオクタン酸エステル水和物吸入粉末剤 20 mg | 1 回 20 mg (1 日 40 mg)
1 日 2 回 朝夕食後吸入 全 10 個 |
| 4 エゼチミブ錠 10 mg | 1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
1 日 1 回 朝食後 14 日分 |
| 5 レボフロキサシン錠 500 mg | 1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
1 日 3 回 朝昼夕食後 14 日分 |

解答

3, 5

解説

選択肢 1,2 は、疑義照会の必要はありません。

選択肢 3 ですが

ラニナミビル（以下略）は、商品名 イナビル です。イナビルは、成人ならば、40 mg を単回投与します。選択肢では、1 日 2 回になっている点や、単回でよいはずなのに、全 10 個 となっている点などから、何か他の薬剤と勘違いしているのではないかと考えられます。よって、選択肢 3 は、疑義照会の必要があります。

選択肢 4 は、疑義照会の必要はありません。

選択肢 5 ですが

クラビット錠 500 mg は 1 日 1 回 経口投与します。選択肢では、1 日 3 回となっており、これは過剰であると考えられます。かつて、クラビット錠には 100mg 錠があり、1 日 3 回で使われていました。そのため、使い方を混同しているのかもしれないと考えられます。よって、選択肢 5 は、疑義照会の必要があります。

以上より、正解は 3,5 です。